

言葉の力をつけよう（音読2年④）

「漢詩「廬山の瀑布を望む」

名前

漢詩は、中国で古くから親しまれた詩で、独特の形式やきまりがあります。日本でも和歌（やまとうた）に対して唐歌（からうた）と呼び、親しまれてきました。

やってみよう

平安時代、漢詩に親しむ貴族が増えました。そこで、中国語である漢文に読み仮名や送り仮名を付けて、日本語の文章のように読む方法が生み出されました。これを「訓読文」と言います。独特の表現やリズムを味わいながら読みましょう。

廬山の瀑布を望む

李白

書き下し文

日は香炉を照らして紫煙生ず
遥かに見る瀑布の前川に挂かるを
飛流直下三千尺
疑ふらくは是れ銀河の九天より落つるか

挑戦

読み慣れたら、訓読文の音読に挑戦してみよう。

訓読文

望廬山瀑布
廬山瀑布
遥看瀑布挂前川
飛流直下三千尺
疑是银河落九天

読めたら色をぬろう!



《読んだ回数》



言葉の力をつけよう（音読2年④）
〔漢詩「廬山の瀑布を望む」〕

解説

★知っておきたい古典の知識

中国語である漢文を、日本語の文章のように読むために生み出された工夫が次の二つです。
① 訓読の時、読む順序を示すための記号「返り点」を使う。
② 漢字の右下にカタカナで「送り仮名」を補う。

白文（中国語の原文）

望廬山瀑布

訓読文（返り点と送り仮名をつけたもの）

望廬山瀑布

書き下し文

（決まりに従って、漢字仮名交じり文にしたもの）

- ① 返り点を基に、読む順番を変える。漢字は漢字のまま書く。
- ② 送り仮名はひらがなに直す。

廬山の瀑布を望む

例 《返り点》し点…一字下から返って読む

訓読文 望廬山瀑布

書き下し文 書を読む

左下が返り点

例 《返り点》一・二点…二字以上下から返って読む

訓読文 思フ故郷

書き下し文 故郷を思ふ

歴史的仮名遣いもそのまま、平仮名に直します。

●練習問題1

○は漢字を表しています。返り点に注意して、読む順番を○に数字で書きましょう。

1 ○ (例②①)

2 ○

3 ○

4 ○

5 ○

●練習問題2

書き下し文に直しましょう。

挙頭望山月

頭を

《解答》

●練習問題1

- 1 ①③②④
- 2 ②①④③
- 3 ①②⑤③④
- 4 ①⑤②③④
- 5 ③①②⑤④

●練習問題2

頭を挙げて山月を望む